

2012年度国際交流事業 2012.7.15 現在

## オペラ「こうもり」ガラ・コンサート企画案

作曲／ヨハン・シュトラウス

### 【1】 交流団体

韓国江原道芸術文化総連合会音楽協会

### 【2】 目的理由

長年にわたる韓国江原道との文化交流を更に深めるため、2010年度江原道芸術祭の江原音楽会に参加し、舞台分野の交流事業の第一歩を歩みだしました。今年度は、鳥取オペラ協会の公演事業に韓国江原道音楽協会をご招待いたします。

なお今後は、本格的な日韓の協働事業を模索したいと考えています。韓国江原道芸総音楽協会の音楽レベルは著しく高く、お互いが学びあう協働事業の展開が可能だと考えています。

つきましては、お互いの芸術文化を理解しあう好機であり、本県と江原道の新しい音楽交流の道に、確固たる親善の礎を構築し、末長い友好親善に寄与したいと思っております。

### 【3】 事業概要

鳥取オペラ協会公演の中に、韓国江原道芸術文化総連合会音楽協会から派遣された演奏家を交え、共同制作の

**RAKUQ OPERA** オペラを公演する。

### 【4】 演目内容 **オペラ「こうもり」ヨハン・シュトラウス作曲 ガラ・コンサート**(約120分に設定)

この『こうもり』は、「オペレッタ」というジャンルに属します。オペレッタは、オペラから「笑い」の要素を強調して派生したもので、「喜歌劇」と呼ばれています。今回は、鳥取オペラ協会の独自様式 **RAKUQ OPERA** として公演します。落語家を狂言回しとしてオペラを圧縮し、名場面名曲で綴る良い所取りの公演になります。

まずその魅力は、ウィンナ・ワルツでおなじみのJ. シュトラウスの音楽がすばらしく、どの曲も耳当たりがいいので、誰でも気軽に楽しむことができます。それに加えて、登場人物が個性的で飽きさせません。アイゼンシュタイン、ロザリンデ夫妻はもちろんのこと、「こうもり博士」のファルケ、おてんば娘の女中アデーレ、他にも脇役の最後の一人まで、きっと客席を笑わせてくれるでしょう。

第2幕では、ロシアの貴族オルロフスキー公爵のパーティが舞台となっており、このパーティの中で、本当にコンサートをやってしまう演出が呼び物です。『こうもり』の物語とは関係のないパーティ内のコンサートですので、その場面に江原道音楽協会から派遣される音楽家の演奏会「**韓国歌曲とアリアの饗宴**」を催そうと言うものです。

#### あらすじ 【第1幕】

時は1874年の大晦日、舞台はオーストリアの温泉地イシュル。以前、ある仮装舞踏会の帰り、アイゼンシュタインは酔っぱらった友人ファルケ博士を「こうもり姿」のまま道ばたに置き去りにしました。それ以来、ファルケはみんなから「こうもり博士」と呼ばれていて、いつかアイゼンシュタインに仕返しをしたいと考えていました。

大晦日のこの日、アイゼンシュタインは公務員を侮辱した罪で、短期間ですが刑務所に入らなければならなくなりました。そこへファルケ博士が登場。楽しいパーティがあるから刑務所に入る前にこっそり行こうと誘います。喜んだアイゼンシュタインがパーティに出かけた後、家に残された妻ロザリンデのところに、元恋人のアルフレートがやって来ます。ロザリンデが迷惑がるのをよそに、アルフレートがまるで本当の夫のように振る舞っていると、ちょうどそこに刑務所長フランクがアイゼンシュタインを迎えに来ました。アルフレートは今更、夫でないとは言えずに刑務所に連行されます。

#### 【第2幕】

さてその晩、ロシアの大貴族オルロフスキー公爵のパーティにアイゼンシュタインが来てみると、なぜか自分の家の女中アデーレに似た女性を見かけます。おかしいなと思いつつもそのことはおいて、仮面を付けた美しいハンガリーの貴婦人を見つけ、夢中になって口説こうとします。実はこの貴婦人の正体は彼の妻ロザリンデ。すべてはファルケ博士の仕組んだワナでした。ロザリンデは口説かれるふりをしながら、アイゼンシュタインの懐中時計を奪います。これが動かぬ証拠となるのです。

#### 【第3幕】

元日の早朝。酔いも残るアイゼンシュタインが刑務所に出頭してみると、すでに見知らぬ男（つまりアルフレート）が自分の代わりに牢屋に入っているではありませんか。アイゼンシュタインは弁護士に変装して様子を伺

っていると、そこにロザリンデがやって来て、アルフレートを牢から出してほしいとアイゼンシュタイン扮する弁護士に相談を始めます。怒ったアイゼンシュタインが正体を明かし、妻を責め立てると、ロザリンデは昨夜奪った彼の懐中時計を見せます。頭を抱えるアイゼンシュタイン。そこへファルケ博士がパーティの参加者とともに現れ、すべては自分の仕組んだ芝居だったのだよ、と種明かしをし、めでたしとなる物語です。

【時と 場所】 1874年の大晦日、オーストリア・イシュル

【登場人物】 アイゼンシュタイン (Br) = 裕福な男

ロザリンデ (S) = アイゼンシュタインの妻

ファルケ (Br) = アイゼンシュタインの友人

アルフレート (T) = ロザリンデの元恋人

アデーレ (S) = アイゼンシュタイン家の女中

フランク (Bs) = 刑務所長

オルロフスキー公爵 (Ms) = ロシアの大貴族

ブリント (Tn) = アイゼンシュタイン氏お抱えの弁護士

演奏／二管編成オーケストラ

公演言語／日本語

## 【5】具 体 案

○時期 2012年10月7日(日) 14:00~16:00

○会場 倉吉未来中心大ホール

○名称 鳥取オペラ協会・江原道芸総音楽協会協働交流親善公演

**RAKUGO OPERA** 「こうもり〜ガラ・コンサート〜」

○公演様式 「らくごぺら」進行役に落語家「桂三風氏」を起用し、全体の流れを仕切るスタイル。

○協働公演役割分担

**鳥取オペラ協会**⇒ソリスト、スタッフ等公演にかかわるすべての業務(衣装・小道具)

指揮／松岡 究 オーケストラ／アザレア室内オーケストラ

演出／中村敬一

落語／桂三風

出演／アイゼンシュタイン (Br) [山田康之]=裕福な男

ロザリンデ (S) [寺内智子]=アイゼンシュタインの妻

ファルケ (Br) [吉田章一]=アイゼンシュタインの友人

アルフレート (T) [谷浩一郎]=ロザリンデの元恋人

アデーレ (S) [小椋美香子]=アイゼンシュタイン家の女中

フランク (Bs) [西岡千秋]=刑務所長

オルロフスキー公爵 (Ms) [鶴崎千晴]=ロシアの大貴族

ブリント (Tn) [松本厚志]=アイゼンシュタイン氏お抱えの弁護士

**江原道音楽協会**⇒オペラ「こうもり」の二幕、ロシアの大貴族オルロフスキー公爵のパーティに招待された音楽家として「江原道音楽協会」の演目「韓国歌曲とアリアの饗宴」を演奏していただく。

**出 演**／ミン・ウンホン(Sp)、オ・ソンリョン(Tn)、パク・ビョンフン(Br)

キム・ミンジョン(Piano) チェ・ジスン会長(Management)

**演奏曲**／1. オペラアリア3曲

ミン・ウンホン Sp : オペラ「セルビアの理髪師」より「今の歌声は」

オ・ソンリョン Tn : オペレッタ「微笑みの国」より「あなたは私のすべて」

パク・ビョンフン B : 「ドン・カルロ」より「一人寂しく眠ろう」

2. 韓国歌曲3曲

オ・ソンリョン Tn : ベンノレ(船の唄)

ミン・ウンホン Sp : セタリョン(鳥の歌)

パク・ビョンフン B : ドエンジャン(味噌)

3. デュエット

ミン・ウンホン Sp とオ・ソンリョン Tn : オペラ「椿姫」より「乾杯の歌」

パーティのフィナーレでキャストが合唱参加

○スケジュール想定

練習会場は基本的に倉吉市勤労青少年ホーム(0858-23-6095)にて行います。

2012. 1. 15 (日) オペラ「こうもり」ガラ・コンサート シナリオ検討会(演出家に依頼)

2. 同上シナリオ決定

4 キャスト・オーディション

7. 15(日) 午前・午後 鳥取オペラ協会練習開始(練習計画は演奏部で決定)

7. 22(日) 午前・午後

7. 29(日) 松岡レッスン

8月の夏休みは月曜から木曜で設定(詳細の決定は7/15に行う)

9月は土日で設定

2012. 10. 5 江原道音楽協会来日1日目⇒(歓迎会開催)

2012. 10. 6 江原道音楽協会来日2日目⇒日韓合同ゲネプロ

2012. 10. 7 江原道音楽協会来日3日目⇒本公演。(打ち上げ兼歓送会開催)

2012. 10. 8 江原道音楽協会来日4日目⇒帰国